

令和5年度 宇美町立宇美東中学校 学校評価(後期結果)

8割以上
6割未満

		4 よくできている 3 できている 2 あまりできていない 1 できていない				A ≥ 3.2 > B ≥ 2.8 > C ≥ 2.4 > D		
大項目	教育活動・内容	前期 (7月)	後期 (1月)	自己 評価	成果 (○) と課題 (●)			
東中生がめざす姿	1 生徒は、意欲的に授業に参加している。	2.8	3.1	B	○学力向上の取組を通して、生徒の学ぶ意欲を高めることができた。 ○特別活動や総合的な学習の時間の計画的な実施を通して、成長を実感している生徒が増えた。 ●生徒が、自分の考えを伝える項目が低い。伝える場面だけではなく、考えをつくるための手立ての工夫を行う必要がある。 ●静かな学校生活に関する評価が低い。生徒指導委員会だけではなく、生徒会を中心とした活動との連携を図る。			
	2 生徒は相手（先生、仲間など）を意識して、自分から「あいさつ」している。	2.5	2.5					
	3 生徒は時間（チャイム席）が守れることができている。	2.7	2.9					
	4 生徒は授業中に、自分の考えを仲間に伝えることができている。	2.6	2.6					
	5 生徒は私語をせず先生の説明を聴くことができている。	2.4	2.8					
	6 生徒は学校生活を静かに（落ち着いて）過ごすことができている。	2.4	2.6					
	7 生徒は清掃活動にきちんと取り組むことができている。	2.6	2.8					
	8 生徒は学校生活で、「自分は成長したな」と感じていることがうかがわれる。	2.6	3.0					
確かな学力を育成する授業改善	9 チャイムと同時に授業を始め、50分間の授業時間を確保している。	3.4	3.5	A	○全職員で「授業スタイルをそろえる」取組を進めたことで、宇美東中スタイルの浸透徹底を進めることができた ○クロームブックを活用した授業設計など、授業を分かりやすくするためのICT機器の活用は、前期よりも進んだ。 ●「授業中、一人一回手を挙げる工夫の項目」が低い。生徒一人一人が、自分の考えを発表できる雰囲気作りの更なる工夫が必要である。 ●教科の特性に応じて、教師が「させる」ではなく、生徒の活動を「支える」手立ての工夫が必要がある。			
	10 授業中、一人一回手を挙げるような工夫をしている。	2.5	2.8					
	11 「めあて」と「まとめ」は定規を使い、黄色で囲んでいる。	3.4	3.5					
	12 習得した学習内容が入った「見通し」や、「何を、どのように、どうするのか」がわかる「めあて」を提示している。	2.8	3.3					
	13 「考えるためのヒント」を提示している。	2.9	3.2					
	14 「習得」「活用」を明確にした単元計画を作成している。	3.1	3.3					
	15 「見方・考え方」「考えるためのヒント」「見通し」を生かす板書構成やノート指導の工夫をしている。	2.6	3.0					
	16 生徒が「見通しを立ててノートやプリントを見直して」自分の考えをつくる場を設けている。	2.7	2.9					
	17 生徒に分かったことやできるようになったことを自覚させる、ふりかえりの場を設けている。	3.1	3.2					
	18 小テストや単元テスト、思考の程度を見取る設問など、形成的評価を取り入れている。	2.7	2.9					
19 3観点における教科指導の適切な評価が補助簿に記録されている。	3.0	3.3						
20 授業をわかりやすくするためにICT機器（テレビ・クロームブック等）を積極的に活用している。	2.9	3.4						
共感的人間関係のある集団づくり	21 問題行動の未然防止・早期発見・早期解決に積極的に取り組んでいる。	3.1	3.3	A	○学年会を通して、生徒の情報共有や指導方針の浸透・徹底を行うことができた。 ○各種アンケートや、教育相談の意図的・計画的な実施を通して、いじめの早期発見や対応を組織的に行うことができた。 ●QUアンケートの分析を基にした、学級集団や個別の指導を更に進める必要がある。 ●SNSに起因する生徒間トラブルに対しては、家庭との連携を更にすすめる必要がある。			
	22 生活アンケートやwebQUの分析結果をもとに、適切に学級指導や個別指導を行っている。	2.7	3.0					
	23 学年会で、生徒の共通理解を図り、集団づくりに取り組んでいる。	3.4	3.3					
	24 様々な場面で、生徒の人権意識を高める努力をしている。	3.1	3.3					
	25 新規に不登校生徒をつくらないために、特別支援教育推進委員会の情報を基に、未然防止に取り組んでいる。	3.0	3.2					
	26 発達に課題がある生徒へは、細やかな対応を心がけている。	3.1	3.4					
	27 問題事象が発生した時は、生徒指導報告書をツールとして報告・連絡・相談を行っている。	3.3	3.4					
	28 個別支援を行うために、SC（またはSSW）、くすのき教室等と連携を図ることができている。	2.8	3.1					
	29 SNSの使い方については、粘り強く繰り返し指導を継続している。	3.0	3.2					
	30 道徳科・特別活動は、指導計画に基づき、生徒の実態に合わせて行っている。	3.0	3.1					
	31 相手意識をもった挨拶を教師が手本として行い、生徒にも指導している。	3.3	3.5					

大項目	教育活動・内容	前期 (7月)	後期 (1月)	自己 評価	成果 (○) と課題 (●)
教育環境・健康安全	32 ユニバーサルデザインの視点で教室や廊下の環境を整えようとしている。	3.1	3.4	A	○ユニバーサルデザインの視点や、生徒の学習の軌跡が分かる環境づくりを、意図的・計画的に行うことができた。 ○生徒の主体的な活動を中心とした、生徒会活動を進めることができた。 ●清掃活動に関する項目が低い。教師による指導だけではなく、生徒会による主体的な活動の更なる充実を図る。
	33 教室や学年棟の掲示物は、生徒の学習の足跡が見えるような環境づくりを行っている。	3.1	3.3		
	34 生徒会活動において、自治的な活動が推進されるよう、適切な指導・助言を行っている。	2.7	3.1		
	35 清掃の時間は、生徒に静かに時間いっぱい隅々まで掃除をさせることができています。	2.5	2.8		
	36 意図的・計画的に健康安全教育に係る指導を行っている。	2.9	2.9		
	37 毎月、担当箇所の安全点検を確実にしている。	3.5	3.1		
	38 部活動については宇美東中学校部活動方針に則って、適切に運営している。	3.3	3.4		
	39 部活動における事故や怪我、熱中症に対し細心の注意を払った指導を行っている。	3.5	3.5		
教育公務員としての姿勢	40 教育公務員としての職責や義務（法令遵守や秘密の保持）を自覚して業務に取り組んでいる。	3.8	3.9	A	○学年会や各種委員会等を通して、主任・主事を中心とした組織的な教育活動を行うことができた。 ○学校長によるスクールコンプライアンス研修の計画的な実施により、教職員の不祥事防止や教育公務員としての意識が更に高まった。 ●教育公務員としての姿勢に関わる項目であるので、意図的・計画的な研修や、日々の声かけを通して、全項目4を目指す。
	41 不祥事は絶対に起こさないという強い決意のもと、自律的に業務に取り組んでいる。	3.9	3.9		
	42 教育公務員として相応しい服装や態度、言葉遣いで業務に取り組んでいる。	3.4	3.5		
	43 組織の一員として上司の指示を理解するとともに、同僚との意思疎通を図り、連携・協力している。	3.5	3.7		
	44 管理職や主幹教諭、主任主事への報告・連絡・相談を適切に行っている。	3.5	3.8		
	45 運営委員会などの各種委員会や職員会議、学年会の審議内容を十分に把握している。	3.1	3.5		
	46 自分自身のSNSの使い方には特に注意を払っている。	3.7	3.8		
	47 生徒に対する身体接触や言葉使いには細心の注意を払っている。	3.7	3.8		
48 保護者や生徒と私的なSNSや電話連絡をしていない。	4.0	4.0			
校務の整理	49 年間行事・月行事・週行事を通して見通しをもち、教育活動に取り組んでいる。	3.3	3.4	A	○評価・評定の説明や、問題事案の報告など、保護者と「つながる」ことを意識した対応を行うことができた。 ○問題事案の発生時は、生徒指導速報により、報告・連絡・相談が行われ、組織的に対応することができた。 ●職員が見通しをもち、校務を行うことができるように、業務の効率化や能率化を更に進める必要がある。
	50 担当分掌における自己の役割を十分に理解し、責任をもって適切な処理を行っている。	3.3	3.5		
	51 机上の整理、教材・教具の整理・保管ができています。	2.8	3.0		
	52 書類などの提出物は、期限を守っている。	3.1	3.2		
	53 会議の開始時間を守るなど協働する意識をもち、法令順守の職員室の風土をつくるようにしている。	3.6	3.6		
	54 出勤簿、タイムカードなど、毎日適切に処理している。	3.5	3.5		
	55 回覧レポートやWEBメールを毎日確認している。	3.0	3.4		
	56 学年通信・学級通信など校外への文書は、必ず教頭、主幹教諭の点検を受けている。	3.7	3.8		
	57 学校の様子を、学級通信や学年通信で公開したり、ホームページで地域や保護者に積極的に公開している。	3.3	3.4		
	58 保護者に対して、評価・評定の説明責任を十分に果たすことができる。	3.5	3.8		
	59 保護者や地域からの電話対応について、誠意をもって対応し、内容によっては管理職に報告するなど適切に対応している。	3.6	3.7		
	60 問題事案や生徒のケガ等については、確実に保護者へ連絡している。	3.6	3.9		
	61 キャリアアップ講座、教科等研、自主サークル研などに積極的に参加している。	3.0	3.1		
	62 働き方改革を意識し、業務の効率化・能率化を図っている。	2.9	3.0		